

シルバーたいとう センターだより NO.141

発行 公益社団法人台東区
シルバー人材センター
編集 総務・広報委員会
台東区小島 1-5-5
電話 3864-3338
FAX 3864-3383
アドレス <https://www.taito-sc.or.jp/>
メール taito@sjc.ne.jp
発行日 令和2年10月15日
会員数 915人(令和2年9月現在)

10月は 広報活動強調月間 です。

十月は、広報活動強調月間です。

シルバー人材センターは、これまで、高齢者が身近な地域で働くことを通じて、活力ある高齢社会、地域社会づくりに貢献する健康で生きがいのある生活を目指してきました。

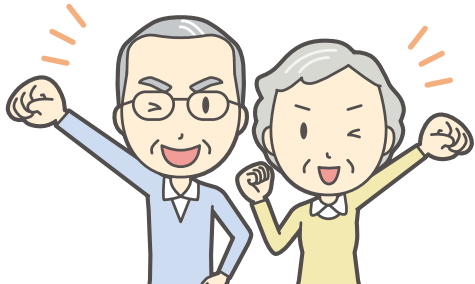
今後、高齢者人口の増大が見込まれる中、シルバー人材センターの果たす役割は、ますます重要になってきております。

センターに対する社会的要望に对应していくため、会員拡充および就業拡大の更なる取り組みが求められています。

現在、新型コロナウイルス感染症の終息がなかなかみえない中ではありますが、当センターは、就業先の確保、就業支援のための研修の実施、広報・宣伝活動の充実等センター発展のために力をいれていかなければなりません。

今年度は、イベント等の活動は制限される状況ではありますが、区や企業が発行する広報紙等への記事掲載依頼、新聞折り込み広告、老人福祉館等での説明会などにより当センターのPRをしてまいります。

会員の皆様におかれましても、未入会のご近所やご友人に対して、センター事業を周知し、センターへの加入を是非お勧めいただきますようお願いいたします。



これからシルバー応援FESTA



日時 令和二年十月三十日(金)、午後二時から
場所 滝野川会館 大ホール(二階)

住所 北区西ヶ原一―二十三―三

JR 京浜東北線 上中里駅

内容 講演会・センター紹介・体力測定

ゲスト あべ静江

応募方法

電話 〇三―五二二―二五七
FAX 〇三―五二二―二三二九

● 理事会だより

第四回理事会（令和二年七月二十八日開催）

・審議事項

① 新規入会について

・報告事項

① 令和二年五月分事業実施状況について

② 令和二年六月分事業実施状況について

③ 令和二年度安全就業計画について

④ 新型コロナウイルス感染症への対応等について

⑤ 令和二年度広報活動強化月間実施（案）

第五回理事会（令和二年八月二十五日書面による決議）

・提案事項

① 新規入会について

第六回理事会（令和二年九月二十三日開催）

・審議事項

新規入会について

・報告事項

① 令和二年七月分事業実施状況について

② 令和二年八月分事業実施状況について

③ 令和三年度安全標語募集について

● 委員会だより

第一回総務・広報委員会（令和二年九月九日）

・議題

センターだより十月号について

第二回安全管理委員会（令和二年九月九日）

・議題

① 令和二年度「安全対策実施計画」及び「安全巡回指導」の実施状況について

② 令和三年度安全就業標語について

③ 安全就業会員研修会の開催について

「危険予知（一人KY活動）」研修会参加報告

理事・安全管理委員 佐藤 幸廣

令和二年七月二十日、東京しごとセンター会議室で開催の「危険予知（一人KY（危険）Y（予知）活動）」に参加しました。講師は、東京しごと財団シルバー保険事業室の坂東寛係長でした。

東京都シルバー人材センター連合内での傷害事故は年々増え続けており、令和元年度は過去最高を記録しました。発生状況としては就業中事故では転倒・転落事故が約5割、経路途上の事故では自転車（約7割）を占めています。特に自転車利用における事故においては、運転操作ミス及びバランス調整ミスによる転倒が約5割を占め、会員自身が予知していれば発生しなかった事故が多く含まれています。

この研修会で、特に印象に残ったのは、事故の原因はいろいろあるが、ケガをするのは自分であり、ケガにより生きがい就業に戻れなくなることがある。事故に遭わないために「自分の身は自分で守る」ことが大事だ、ということでした。

研修の最後に、いくつかのイラスト「自転車のための交通KYシート」を見ながら危険を先取りする危険予知訓練をしました。

① 状況の読み取り

② 危険の予測

③ 危険の絞り込み

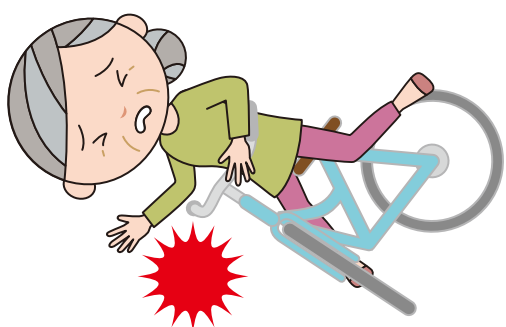
④ 危険回避の絞り込み

⑤ まとめ（自転車の運転で望ましい行動）

この危険予知訓練で、いろいろな場面での危険の見つけ方や対処法が勉強できました。

KYについては、わかっているつもりでしたが、誤って覚えていたり、重要なポイントを見落としていたりすることに気づくなど、非常に得るものが多い研修会でした。

講師からのアドバイスを意識し、自分のスキルを高め、安全管理に取り組んでいきたいと考えています。



【安全就業巡回指導を実施しています】

～令和二年度（上半期）実績報告～

今年も、会員さんの就業している現場を訪問し、安全就業の確認をさせていただいております。

屋内の清掃作業時、階段を踏み外し、下肢を打撲した事例がありました。

踵を踏んだ靴の履き方はしない、足元を確認しながら降りる等の注意が必要です。

回	実施日	施設名	担当委員
1	6月12日（金）	福祉プラザ台東清峰会 待乳保育園	佐橋委員長 加藤委員
2	7月7日（火） ※安全強化月間	松が谷保育園 金杉区民館	佐橋委員長 中野委員
3	7月10日（金） ※安全強化月間	ケアハウス松が谷 区立台東病院	高木委員 小林委員
4	7月15日（水） ※安全強化月間	環境ふれあい館 寿区民館	金子委員 吉良委員
5	8月4日（火）	襖工房 シルバー人材センター作業所	佐藤委員 小林委員
6	9月10日（木）	英信寺 金杉区民館下谷分館	金子委員 吉川委員

健康で長く働き続けるために

働く高齢者が増えています。

六十歳以上の雇用者数は過去十年間で一・五倍に増加。

こうした中、労働災害による死傷者数では六十歳以上の労働者が占める割合は二十六％（二千十八年）で増加傾向にあります。労働災害発生率は、若年層に比べ高齢層で相対的に高くなり、中でも、転倒災害の発生率が、若年層に比べ高く、女性で顕著です。

都のシルバー人材センターでも、令和元年度の事故発生状況の中、最も多かったのは、屋内清掃作業における転倒事故でした。その要因は、躓いて（引掛けて）転倒したことが、多くを占めます。

労働災害防止を図るため職場環境改善の取組みは重要ですが、高齢労働者も、定期的な健康診断を受け、健康や体力の状況を把握しましょう。



労働者に求められる事項

- ・自らの身体機能や健康状況を客観的に把握し、健康や体力の維持管理に努めます
- ・法定の定期健康診断を必ず受けるとともに、法定の健康診断の対象とならない場合には、地域保健や保険者が行う特定健康診査等を受けるようにします
- ・体力チェック等に参加し、自身の体力の水準を確認します
- ・日ごろからストレッチや軽いスクワット運動等を取り入れ、基礎的体力の維持に取り組みます
- ・適正体重の維持、栄養バランスの良い食事等、食習慣や食行動の改善に取り組みます

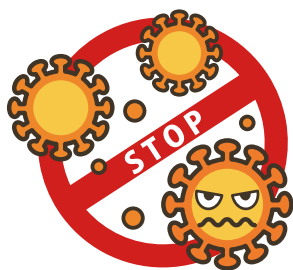
「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」より

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症の終息がみえない状況が続いています。

高齢者や持病のある人は、かかると重症化すると言われており、会員の皆様も、落ち着かない日々をお過ごしのことと思います。

マスク・手洗い・不要不急の外出を控えることを地道に守ること、そして、免疫力を強化するため、良質な睡眠・バランスのとれた栄養・適度な運動を心がけ、コロナウイルスに負けない体質を作りましょう！



持続化給付金について

全国シルバー人材センター事業協会が作成した、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う「よくある質問」等がQ & A形式で公開されています。会員の皆様に関係の深い一部をご案内いたします。

Q 令和二年六月二十九日から、持続化給付金の支給対象が拡大されたと聞きましたが、シルバー人材センターで就業して、配分金収入を「雑所得」として確定申告している者も対象になりますか？

A これまで、持続化給付金の支給対象者は「事業収入」が前年同月比で五十%以上減少した月があることが要件とされていましたが、令和二年六月二十九日からは、雇用契約によらない業務委託契約等に基づく収入を「雑所得」又は「給与所得」として確定申告している者も新たに対象とすることとなりました。

経済産業省のホームページでは、この収入は「主たる収入」であることを要し、確定申告様式第一表の「不動産収入」、「利子」、「配当」、「給与」、「公的年金等」、よりも「雑その他」の額の方が高額であることが要件であるとしています。

会員の配分金が「主たる収入」とみなされるか否かは、個々人の状況によって異なりますので、詳細は持続化給付金コールセンター等にお問い合わせください。

●経済産業省ホームページ

<https://www.meti.go.jp/covid-19/jizokuka-kyufukin.html>

●質問等は持続化給付金事業コールセンター

0120-115-570

会員訪問

いろんな仕事したなあ

くぼたいくひろ
窪田郁博

上野駅周辺管理

内装の仕事を辞めて、飯田橋（財団しごとセンター）に行き、仕事別の研修に分れたけれど、シルバーには内装の仕事はなかなか無かったので、自転車の講習（駐輪場管理）を受けた。自転車の構造あと交通ルールの勉強。

ピラ配りから、いろんな仕事、したなあ。

現在の仕事は、自転車の管理なので、そんなに難しいことはないけれど、自転車の置き方がものすごく悪い人がいる。点字ブロックに乗せて駐輪する人がいて、頭にくることはある。9か所ある、自転車置き場を巡回して回っている。

シルバーの仕事以外では、シニアクラブの支部長や、余計なことばかりやっている。

シニアクラブも入会が、七十代後半になってきており、規約の変更等の話もある。

主人に紹介されて

くぼたちえこ
窪田千枝子

保育園の清掃業務

七十歳まで会社勤めをし、辞めて、主人に（シルバー人材センターを）紹介されて、すぐに仕事が始まりました。

※ご主人

「うちに一人で、いるのはかわいそうかなあ。皆さんと多少でもおしゃべりするほうがいいかと」と隣でボソッと。

今、コロナの影響で、消毒・洗濯等仕事の量が、前よりは増えました。

小さいお子さんにうつしちゃいけないので、マスク・手洗いに気を付けています。

園庭を掃除したり、動きっぱなし。でも段取りよくやって、午後2時半には終わります。

（通勤の）自転車で谷中の坂をいつもで、のぼって行けるかどうか。



会員訪問

去年とは違うものを

みやざわまりこ
宮澤満里子

折り紙塾

家業は、国際劇場・歌舞伎座等の演劇で使われる造花屋さんでした。

夫は、素材の紙の段階から染めていました。

シルバー人材センターは、台東区民新聞に掲載されていた筆耕講座の募集を知りました。

そのうちに折り紙講座にも通うようになり、いつの間にか、やる(教える)方になっていたわね。

墨田区の折り紙博物館に勉強にも行きました。毎回何をつくるかは、年間を通して、季節に合うものを選んでいきます。たかが、折り紙っていうけれど、去年と同じものにならないようにするのが大変なの。何を作るかは、インターネットで探して、田口さんと相談しながらやっています。折り紙が全く初めてという人でも作れる、易しそうなものはないか研究してね。

皆、折り紙が好きだから来ているわけだから、丁寧に、ゆっくり教えてあげて、何回もつまずいて、やり直しても完成させてあげなきゃ。

カラオケや韓流ドラマが好き。家でも、手が空いてればなにかしら広げてやっている。たいくつということはない。



会員訪問

元気な限りやりたい

たぐちとみこ
田口トミニ

折り紙塾

折り紙をはじめたきっかけは、当時、蔵前のひまわり(環境ふれあい館)で筆耕の講習に通っていたところ、乙部先生から、折り紙講座を立ち上げるので「入りませんか」と誘われたんです。

大変な事は、教える立場になると、しっかり頭に入れておかないと教えられないから、何回も、家で練習してること。1枚の紙から立体的なものが仕上がっていく事が楽しい。紙によって出来上がりが違うので、それに合った紙を選ぶことも大事。ボランティアで浅草保健所、児童館にも4年間行つた。90歳を過ぎてまだこうやって活動できるのは、テレビを見ながらストレッチ体操をしたり、自宅の4階まで階段を上がったり下がったりして、植木の水やりや洗濯をしていることかなあ。食事にも気を使い、緑黄色野菜、肉・魚、牛乳・チーズも食べ、また食べ過ぎないようにしているんだけど、今度の自粛(生活)で太ったわねえ。これからも、元気な限り折り紙をやりたい。



自転車損害賠償保険の加入が

義務化されました!

昨年九月に東京都の条例が改正され、自転車の利用者は、自転車損害賠償保険への加入が義務となりました。

令和二年二月に当センター会員を対象の自転車損害賠償保険アンケート結果では、回答者で自転車利用者四百五十五人のうち個人賠償責任保険加入者は、二百八十七人の六十三%でした。

自転車事故による高額な賠償金が多発している中、シルバー保険には就業途上の自転車運転中の賠償事故の補償がありません。

会員の皆さんが、ご自身で加入している損害保険に自転車事故が含まれるかどうか、ご確認ください。



会員のひろば

台東区美術展

第43回台東区美術展（主催：台東区教育委員会、台東区美術会）が9月11日から16日まで、隅田公園リバーサイドギャラリーで開催され、今年も当センター会員3名が出展されました。

水墨画



画題 立葵の輝き
作者 牧野 民子さん

葵は徳川家の家紋で知られています。立葵の素晴らしさを書いてみました。



画題 段畑
作者 小菅 邦弘さん

長野の山奥にある段畑をイメージして書いてみました。

洋画



画題 活
作者 小松原 民代さん

活は生きるという意味です。昔、体調を崩した時に旅行したニューヨーク、マンハッタンの町を思い出して絵にしてみました。

※作者への取材等は、石森相談役をお願いしました。

令和3年度安全就業標語を募集！

安全就業の普及・啓発活動の一環として、安全に就業する意識をより一層高め、事故防止を目指すことを目的に募集いたします。

テーマ

- ・転倒予防について
- ・危険予知について

応募期間

10月16日(金)～11月30日(月)

申込方法

郵送 〒111-0056 台東区小島1-5-5
(公社) 台東区シルバー人材センター
FAX: 03-3864-3383 E-mail: taito@sjc.ne.jp
窓口提出 いずれの方法でも受け付けます。

応募数

テーマごとに1人3点まで応募できます。

※応募者全員に粗品進呈 テーマごとに優秀作品には記念品を進呈いたします。

